

第9回リーガルオペレーションズ研究所 議事録

開催日時：

2025年12月11日（木）17時から18時30分

開催場所：

株式会社 LegalOn Technologies 本社 19階 会議室

出席者：

研究員（敬称略、あいうえお順）

打田、河野、佐々木、根橋、間宮

事務局

大原、奥村、今野（記）、軸丸、松丸、村嶋

アジェンダ

- リーガルオペレーションズ研究所の方針について
- Core8のフレームワークに対する意見集約後の案の検討・担当決め

サマリー

【決定事項】

- 今後の進め方として、まずはCore8の評価シートに基づき各研究員が自社の現状を評価・検証し、その結果を持ち寄って実態と課題を議論することが決定された。
- 研究員より提案された「KPI管理」「コミュニケーション」などの新たなCoreの候補項目については、直ちに独立したCoreとして新フレームワークの作成を進めるのではなく、既存のCore8の各項目の中で関連性を検討し、必要に応じて独立させるか判断する方針とされた。
- 次回の定例会は、各社の検証時間を確保するため、2月を目指として実施することが決定された。

議事の経過

1. 全体方針に関する主な議論

- 事務局からは、Core8の8つのCoreの数自体を変えることは混乱を招くおそれがあるため、既存のCore8のフレームワークをベースに時代に合わせて修正する方向性が提案された。
- これに対し、研究員からは、既存のCore8が浸透していないのであれば、フレームワーク自体に使いにくさや課題がある可能性があるとの指摘がなされ、独自のフレ

ームワークの作成も視野に入れた検討をすべきであるとの意見が出された。

- また、Core8 の認知度は一定程度高まっているものの、実務で使いこなせている企業は少ないと認識で一致した。その要因としては、各 Core の「レベル 1~3」の定義が曖昧であり、チェックリストとして機能しても次のアクション（優先順位付けなど）に繋がりにくい点などが指摘された。

2. 新たな Core 候補案（KPI、コミュニケーションなど）の扱い

- 佐々木研究員より提案のあった「KPI 管理」「コミュニケーション」といった要素について、独立した Core とすべきか、既存の Core8 の中に要素として組み込むべきか議論された。
- これについては、独立させるかの議論の前に、まずは Core8 の各項目の議論の中で、KPI やコミュニケーションといった視点がどのように関わるかを検証し、その上で独立させるべきか判断するアプローチをとることで意見が一致した。

3. 今後の進め方

- Core の数や定義を急に決定するのではなく、実態に即した議論を行うためのプロセスが必要であるという点で意見の一一致が見られた。
- 進め方として、実際に研究員が所属する組織の状況を現行 Core8 のフレームワークにあてはめて評価・検証を行うことが合意された。その方法として、佐々木研究員が作成した評価シートに、各研究員が記入・検証を行うこととされた。
- 次回以降の会議では、各社の検証結果（レベル判定のバラつきや、当てはまりにくい項目など）をシェアし、それを基に Core の中身やレベル定義の妥当性を再考することとされた。